

IBM Rational PurifyPlus for Windows
IBM Rational Purify for Windows



インストール ガイド

バージョン 7.0.1

IBM Rational PurifyPlus for Windows
IBM Rational Purify for Windows



インストール ガイド

バージョン 7.0.1

目次

本書について	v	サイレント インストールの実行	10
第 1 章 概要	1	第 4 章 製品の開始	11
製品概要	1	第 5 章 ライセンスの管理	13
インストールの規則と用語	1	ライセンス タイプ	13
製品のインストールに関する最新情報	2	ライセンス情報の表示	14
第 2 章 インストールの注意点	3	ライセンスの使用可能化	14
インストール要件	3	ライセンスの購入	15
インストール ロケーション	3	第 6 章 製品の更新	17
別のリリースからのアップグレード	4	前のバージョンへの更新の復帰	18
第 3 章 ソフトウェアのインストール	5	第 7 章 ソフトウェアのアンインストール 21	
ランチパッドの開始	5	製品のアンインストール	21
セットアップ ディスクからのランチパッドの開始	5	IBM Installation Manager のアンインストール	21
ダウンロードしたイメージからのランチパッドの開始	6	付録. 特記事項	23
IBM Installation Manager の操作	6	商標	24
Installation Manager のインストール	7	索引	25
Installation Manager の開始	7		
製品 of インストール	8		

本書について

本書では、IBM® Rational® Purify® および IBM Rational PurifyPlus™ のインストール方法が記載されています。

本書は、Microsoft Windows® でのインストールのみに適用可能です。

本書の対象読者

本書は、IBM Rational Purify および IBM Rational PurifyPlus のインストール責任者を対象とします。本書には、製品のエンド ユーザーと管理者の両方に対する情報が含まれています。

IBM Rational Software 製品については、IBM カスタマ サポートに連絡してください。

本製品のインストール、使用、または保守に関するご質問がある場合は、次の IBM カスタマ サポートに連絡してください。

IBM Software サポートのインターネット サイトでは、電話や電子メールによるサポートもご利用になれます。IBM Rational 製品に関する IBM Software サポートのホームページは <http://www.ibm.com/software/rational/support/> にあります。音声サポートは、お客様の国 (利用可能な場合) より電話番号をダイヤルしていただくことによって、現在契約を結んでいるすべてのお客様が利用できます。特定の国の電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide/> にアクセスしてください。

注: 注: IBM カスタマ サポートに連絡する場合、以下の情報を用意し提供してください。

- お名前、会社名、ICN 番号、電話番号、および電子メールアドレス
- ご使用のオペレーティング システム、バージョン番号、および適用したすべてのサービス パックまたはパッチ
- 製品名およびリリース番号
- ご使用の PMR 番号 (前述の問題がある場合)

IBM Support Assistant のダウンロード

IBM Support Assistant (ISA) は、ローカルにインストールされた保守容易性ワークベンチです。ソフトウェア製品の問題を解決しやすくします。ISA は IBM からダウンロードできる無償のスタンドアロン アプリケーションです。いずれのコンピュータにもインストールできます。ISA は、AIX®、Red Hat Enterprise Linux、SUSE Linux Enterprise Server、Solaris、および Windows のプラットフォームで稼働します。

ISA には以下のフィーチャーが含まれています。

- 統合検索
- データ収集

- 問題の報告
- 研修ロードマップ

ISA および製品プラグインのダウンロードおよびインストールに関する説明を含む ISA の詳細については、ISA Software サポート ページにアクセスしてください。

IBM Support Assistant: <http://www.ibm.com/software/support/isa/>

第 1 章 概要

このインストール ガイドには、IBM Rational Purify および IBM Rational PurifyPlus のインストール、更新、およびアンインストール方法が記載されています。

本書は、Microsoft Windows でのインストールのみに適用可能です。

製品概要

IBM Rational PurifyPlus は受賞歴のある動的分析ソリューションであり、開発者がより信頼性のあるコードを素早く作成するのに役立つよう設計されています。これには、単一の製品にパッケージされた、以下の 4 つの基本機能が含まれています。

- **メモリのデバッグ:** 未初期化メモリ アクセス、バッファ オーバーフロー、およびメモリの不適切な解放など、検出が困難なメモリ エラーを正確に指摘します。
- **メモリ リークの検出:** 有効なポインタがないメモリ ブロックを識別します。
- **パフォーマンスのプロファイリング:** アプリケーション パフォーマンスの障害を強調して、関数呼び出しのグラフィカル表現によってアプリケーション調査を高めます。
- **コード カバレッジ:** 行レベルの精度で未テストのコードを識別します。

IBM Rational Purify は、PurifyPlus とは別個に販売されている製品です。この製品には、上述したメモリのデバッグ機能とメモリ リーク機能が含まれていますが、パフォーマンスのプロファイリング機能またはコード カバレッジ機能は含まれていません。

注:

PurifyPlus の詳細については、<http://www.ibm.com/software/awdtools/purifyplus/win> を参照してください。

Purify の詳細については、<http://www.ibm.com/software/awdtools/purify/win> を参照してください。

インストールの規則と用語

これらの用語と規則を理解することは、インストール情報を最大限に活用するのに役立ちます。

このインストール情報では、以下の規則が使用されます。

- デフォルトのインストール ディレクトリは `C:%installation_directory%inst.file` のように記載されます。
- インストール情報のデフォルトのログ ロケーションは `C:%log_file_dir%log.txt` です。

インストール・トピックでは、以下の用語が使用されています。

インストール・ディレクトリー

パッケージがインストールされた後の製品成果物のロケーション

パッケージ

ソフトウェア製品のインストール可能ユニット。ソフトウェア製品パッケージは、個別にインストール可能なユニットであり、ソフトウェア製品の他のパッケージとは独立して操作することができます。

パッケージ・グループ

パッケージ・グループは、異なる製品パッケージが、同じグループ内の他のパッケージとリソースを共有するディレクトリーです。IBM Installation Manager を使用してパッケージをインストールする場合は、新規パッケージグループを作成するか、またはパッケージを既存のパッケージグループにインストールできます。

リポジトリー

パッケージがダウンロードに使用できるストレージ域。リポジトリーは、ディスク・メディア、ローカル・ハード・ディスク上のフォルダー、あるいはサーバーや Web ロケーションになります。

共用ディレクトリー

場合によって、製品パッケージはリソースを共有することができます。これらのリソースは、パッケージが共有するディレクトリーにあります。

製品 インストールする製品は Purify または PurifyPlus のいずれかです。

製品のインストールに関する最新情報

以前のバージョンの製品に慣れている場合は、このバージョンのインストールにいくつかの相違点があることに気付くでしょう。

以前のバージョンの製品は、Microsoft® MSI テクノロジーを使用してインストールされました。このバージョンでは、IBM Installation Manager を使用します。その結果、このバージョンをインストールする前に、以前のインストールはすべて除去する必要があります。

第 2 章 インストールの注意点

このセクションでは、製品をインストールする前に考慮すべき詳細について説明します。

インストール要件

インストールでは、製品をインストールして実行するために正しいハードウェアとソフトウェアが必要です。

製品をインストールする前に、以下の点を確認してください。

1. ご使用のシステムが、サポートされる組み合わせのハードウェアとソフトウェアを実行していること。ご使用のインストール済み環境に適した PurifyPlus の要件または Purify の要件を確認してください。
2. 十分なハードウェア リソースがあること。

ハードウェア リソース	要件
メモリ	最小: 256 MB の RAM (1 GB を推奨)
ディスク スペース	最小: PurifyPlus のインストールには 97 MB。 Purify のインストールには 55 MB。 注: <ul style="list-style-type: none">• この製品をインストールするための製品パッケージをダウンロードする場合は、追加のディスク スペースが必要になります。• インストールメンテーション キャッシュを適応させるには、追加のディスク スペースが必要です。要件は、インストールメントする実行可能ファイルと共有オブジェクト ファイルのサイズと複雑度によって異なります。おおよその目安としては、インストールメントするモジュールは元のモジュールより 50% 大きくなることが予想されます。
ディスプレイ	最小: 256 色を使用する 800 x 600 の解像度 (トゥルー カラーを推奨)

3. ユーザー ID に 2 バイト文字が含まれていないことと、管理者グループに属していること。

インストール ロケーション

IBM Installation Manager は、指定されたりポジトリから製品パッケージを取得して、選択したロケーション (パッケージ グループといいます) に製品をインストールします。

パッケージ・グループ

インストール中に、製品をインストールするパッケージ グループ を指定します。

- パッケージ グループは、製品がリソースを共有するディレクトリを表します。
- **Installation Manager** を使用して製品をインストールする場合は、パッケージ グループを作成するか、または製品を既存のパッケージ グループにインストールします。新規パッケージ グループには自動的に名前が割り当てられます。ただし、パッケージ グループのインストール ディレクトリは選択できます。
- パッケージ グループの作成後に、インストール ディレクトリを変更することはできません。インストール ディレクトリには、パッケージ グループにインストールされた製品によって共有されるファイルおよびリソースが含まれます。
- 他のパッケージと共有するよう設計された製品リソースは、共有リソース ディレクトリにインストールされます。すべての製品がパッケージ グループを共有できるわけではありません。その場合、既存パッケージ グループを使用するオプションが使用不可になります。
- 一度に複数の製品をインストールする場合は、すべての製品が同じパッケージ グループにインストールされます。

重要: 製品を Windows Vista オペレーティング システムにインストールする場合は、Program Files ディレクトリ (C:¥Program Files¥) 内にパッケージ グループを作成しないでください。作成すると、管理者特権を持たないユーザーは製品を使用できなくなります。

共用リソース・ディレクトリー

共有リソース ディレクトリ は、複数の製品パッケージ グループで使用できるように製品リソースをインストールする場所です。共有リソース ディレクトリは、最初の製品パッケージの初回インストール時に定義します。最良の結果を得るには、共有リソース ディレクトリには一番大きいディスク ドライブを使用してください。すべての製品パッケージをアンインストールしない限り、ディレクトリ ロケーションを変更することはできません。

重要: 製品を Windows Vista オペレーティング システムにインストールする場合は、Program Files ディレクトリ (C:¥Program Files¥) 内に共有リソース ディレクトリを作成しないでください。作成すると、管理者特権を持たないユーザーは製品を使用できなくなります。

別のリリースからのアップグレード

このバージョンの製品をインストールする前に、以前にインストールしたバージョンをアンインストールする必要があります。これは、インストール テクノロジーの変更に対応させるための一回限りの要件です。この作業は、将来の更新では必要ありません。

第 3 章 ソフトウェアのインストール

このセクションでは、製品のインストール手順について説明します。また、IBM Installation Manager が自動的にインストールされなかった場合に、これをインストールする手順も記載されています。

続行する前に、ご使用のシステムが最小のハードウェア要件とソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。3 ページの『インストール要件』を参照してください。

ランチパッドの開始

ランチパッド・プログラムを使用すると、1 つのロケーションでリリース情報の表示およびインストール・プロセスの開始を行うことができます。

次の場合に、ランチパッド プログラムを使用してソフトウェアのインストールを開始します。

- 製品 CD からのインストール
- ローカル・ファイル・システム上の電子イメージからのインストール
- 共有ドライブ上の電子イメージからのインストール

インストール プロセスをランチパッド プログラムから開始すると、IBM Installation Manager は、既にコンピュータ上にインストールされていない場合は自動的にインストールされます。さらに、インストール プロセスが、インストール パッケージが含まれているリポジトリのロケーションで既に構成された状態で開始します。Installation Manager を直接インストールして開始する場合は、手動でリポジトリ設定を行う必要があります。

セットアップ ディスクからのランチパッドの開始

セットアップ ディスクからランチパッドを開始するには、以下のステップに従ってください。

1. セットアップ ディスクを CD ドライブに挿入します。
2. ユーザー ID に応じて、以下のいずれかのステップを実行します。
 - **管理者としてインストールする場合:** ご使用のコンピュータで自動実行が使用可能になっている場合は、ランチパッド プログラムが自動的に開始します。ランチパッドが自動的に開始しない場合は、CD のルート ディレクトリから `launchpad.exe` を手動で実行します。
 - **非管理者としてインストールする場合:** `InstallerImage_win32` ディレクトリから `userint.exe` を実行して、セットアップ ディスクからインストールを開始します。
3. 言語を選択します。
4. 製品の「インストール」リンクをクリックします。

タスクの結果

この時点で、Installation Manager は実行中である必要があります。次に、8 ページの『製品のインストール』に記載されている詳細なステップバイステップの手順に従ってください。

ダウンロードしたイメージからのランチパッドの開始

IBM パスポート アドバンテージからダウンロードした電子イメージからインストールする場合は、以下のステップに従って、ランチパッドを開始してください。

1. コマンド ウィンドウを開きます。
2. ダウンロードしたイメージに含まれているファイルを、希望するディレクトリ (例えば、C:¥EXTRACT_DIR) に解凍します。
3. ユーザー ID に応じて、以下のいずれかのステップを実行します。
 - 管理者としてインストールする場合: C:¥EXTRACT_DIR¥launchpad.exe を実行します。
 - 非管理者としてインストールする場合:
C:¥EXTRACT_DIR¥InstallerImage_win32¥userinst.exe を実行します。
4. 製品の「インストール」リンクをクリックします。

タスクの結果

この時点で、Installation Manager は実行中である必要があります。次に、8 ページの『製品のインストール』に記載されている詳細なステップバイステップの手順に従ってください。

IBM Installation Manager の操作

Installation Manager は、ソフトウェア パッケージのインストールに使用するツールです。これは、製品のインストールを開始すると自動的にインストールされます。

このタスクについて

ランチパッド プログラムを使用するか、userinst.exe プログラムを実行して、セットアップ ディスクから製品のインストールを開始すると、Installation Manager は、まだインストールされていない場合でも自動的に開始されます。その後、製品のインストール プロセス中に、Installation Manager をご使用のコンピュータにインストールします。

パッケージには、最新バージョンの Installation Manager が必要になる可能性があります。Installation Manager の「設定」ウィンドウの「リポジトリ」ページで「サービス・リポジトリで更新をサーチします (Search service repositories for updates)」チェック ボックスをクリアしていない場合は、更新が検出されます。

このセクションでは、Installation Manager に関連するいくつかの共通タスクについて説明します。詳しくは、Installation Manager のオンライン ヘルプまたは Installation Manager インフォメーション センターを参照してください。

注: Installation Manager をサイレント モードで実行して、パッケージのインストール、更新、およびアンインストールを行うことができます。サイレント モードでのインストールについては、Installation Manager インフォメーション センターを参照してください。

注: Installation Manager は、コンピュータ上のユーザー ID ごとに一度のみインストールされます。

Installation Manager のインストール

1. セットアップ ディスクで `InstallerImage_platform` サブディレクトリに変更します。
2. 以下のいずれかのコマンドを入力します。
 - 管理者としてインストールする場合: `install`
 - 非管理者としてインストールする場合: `userinst`
3. 「パッケージのインストール」ウィザードの最初のページで、「他のバージョンおよび拡張の検査」をクリックして、使用可能な最新バージョンをインストールします。より新しいバージョンが使用可能な場合は、インストールのために自動的に選択されます。「次へ」をクリックします。
4. 「ご使用条件」ページの使用条件を読み、「使用条件の条項に同意します」を選択して同意します。「次へ」をクリックします。
5. 必要に応じて、「宛先フォルダー」ページの「参照」ボタンをクリックして、インストール場所を変更します。「次へ」をクリックします。
6. 「要約」ページで「インストール」をクリックします。インストール・プロセスが完了したら、プロセスが正常に行われたことを確認するメッセージが表示されます。
7. 「Installation Manager の再始動」をクリックします。Installation Manager が開きます。

Installation Manager の開始

このタスクについて

Installation Manager は、ランチパッド プログラムから開始してください。そうすると、Installation Manager が、リポジトリ設定を構成し、パッケージを選択した状態で起動します。Installation Manager を直接開始した場合は、リポジトリの設定と製品パッケージの選択を手動で行う必要があります。

Installation Manager を手動で開始するには、「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「IBM Installation Manager」 → 「IBM Installation Manager」をクリックします。

次のタスク

注: **Windows Vista** では、Installation Manager を管理者として実行する必要があります。プログラムのショートカットを右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。

製品のインストール

このセクションでは、IBM Installation Manager を使用して製品をインストールする方法について詳細に説明します。

始める前に

5 ページの『ランチパッドの開始』の説明に従ってランチパッドを開始するか、Installation Manager を直接実行できます。この作業を行うには、Installation Manager がインストールされていることを確認します。6 ページの『IBM Installation Manager の操作』を参照してください。

このタスクについて

製品をインストールするには、以下のステップを完了してください。

1. 「パッケージのインストール」ウィザードに、Installation Manager が検索したリポジトリ内で検出されたすべてのパッケージがリストされます。2 つのバージョンのパッケージが検出された場合は、最新バージョンまたは推奨バージョンのパッケージのみが表示されます。
 - Installation Manager で検出されたすべてのバージョンのパッケージを表示するには、「すべてのバージョンを表示」をクリックします。
2. 製品パッケージをクリックすると、「詳細」ペインにその説明が表示されます。
3. 製品パッケージに対する更新を検索するには、「他のバージョンおよび拡張の検査」をクリックします。

注: インストール済みパッケージ用に定義済みの IBM 更新リポジトリ ロケーションを Installation Manager が検索するようにするには、「リポジトリ」設定ページで「インストールと更新を行っている間にリンクされたリポジトリをサーチします」設定を選択する必要があります。この設定はデフォルトで選択されています。インターネットへのアクセスも必要です。

Installation Manager は、製品パッケージの定義済みの IBM 更新リポジトリで更新を検索します。リポジトリ・ロケーションを設定しておけば、そこも検索します。進行状況表示に検索状況が表示されます。基本製品パッケージのインストールと同時に更新もインストールできます。

4. ご使用の製品パッケージに対する更新が検出されると、「パッケージのインストール」ページの「インストール・パッケージ」リスト内の対応する製品の下に表示されます。デフォルトでは、最新の更新が表示されます。
 - 使用可能なパッケージ用に検出された更新をすべて表示するには、「すべてのバージョンを表示」をクリックします。
 - 「詳細」でパッケージの説明を表示するには、パッケージ名をクリックします。README ファイルやリリース・ノートなど、パッケージに関する追加情報が入手可能な場合は、説明本文の最後に「詳細情報」リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、ブラウザーに追加情報が表示されます。インストールするパッケージを完全に理解するためには、事前にすべての情報を検討しておくようにしてください。

5. インストールするパッケージおよびそのパッケージに対する更新 (ある場合) を選択します。依存関係のある更新は、自動でまとめて選択およびクリアされません。「次へ」をクリックして続けます。

注: 一度に複数のパッケージをインストールする場合は、すべてのパッケージが同じパッケージ・グループにインストールされます。

6. 「ライセンス」ページで、選択したパッケージのご使用条件をお読みください。

複数のパッケージをインストールするよう選択した場合は、各パッケージにご使用条件がある場合があります。「ライセンス」ページの左側で、各パッケージのバージョンをクリックして、ご使用条件を表示してください。インストールするために選択したパッケージのバージョン (例えば、基本パッケージおよび更新) は、パッケージ名の下にリストされます。

- a. ご使用条件のすべての条項に同意する場合は、「**使用条件の条項に同意します**」をクリックします。
 - b. 「次へ」をクリックして続けます。
7. 「ロケーション」ページで、「**共用リソース・ディレクトリー**」フィールドに共用リソース・ディレクトリー のパスを入力するか、デフォルト・パスを受け入れます。共用リソース・ディレクトリーには、1 つ以上のパッケージ・グループが共用できるリソースが含まれています。「次へ」をクリックして続けます。

重要: Windows Vista にインストールする場合、管理者特権を持たないユーザーが製品を操作できるようにするには、Program Files ディレクトリー (C:¥Program Files¥) 内のディレクトリーを選択しないでください。

デフォルト パスは C:¥Program Files¥IBM¥IBMIMShared です。

重要: 共用リソース・ディレクトリーは、パッケージの初回インストール時にものみ指定できます。将来のパッケージの共用リソースに十分なスペースを確保するために、これには一番大きいディスクを使用してください。すべてのパッケージをアンインストールしない限り、ディレクトリー・ロケーションを変更することはできません。

8. 「ロケーション」ページで、パッケージ グループを作成して、製品パッケージを新規パッケージ グループにインストールするか、既存のパッケージ グループを使用して別の製品とシェル共有するかを指定します。パッケージ・グループは、パッケージが同じグループ内の他のパッケージとリソースを共用するディレクトリーを表します。新しいパッケージ・グループを作成するには、以下のようにします。
 - a. 「**新規パッケージ・グループの作成**」をクリックします。
 - b. パッケージ・グループのインストール・ディレクトリーのパスを入力します。パッケージ・グループの名前が自動的に作成されます。

デフォルト パスは C:¥Program Files¥IBM¥RationalPurifyPlus です。

重要: Windows Vista の場合、Program Files ディレクトリーは、管理者として実行していないユーザーがこの保護下のディレクトリーへの書き込み権限を

持つことができるように、普通は仮想化されます。しかし、仮想化の解決策は、Purify または PurifyPlus とは互換性がありません。

- c. 「次へ」をクリックして続けます。
9. 「フィーチャー」ページの「言語」で、パッケージ・グループの言語を選択します。製品パッケージのユーザー インターフェースおよび資料について、対応する各国語翻訳がインストールされます。
10. 次の「フィーチャー」ページで、インストールするパッケージ・フィーチャーを選択します。
 - a. オプション: フィーチャー間の依存関係を表示するには、「**依存関係の表示 (Show Dependencies)**」を選択します。
 - b. オプション: フィーチャーをクリックすると、「**詳細**」の下に簡単な説明が表示されます。
 - c. パッケージのフィーチャーを選択またはクリアにします。Installation Manager は、他のフィーチャーとの依存関係を自動的に強制し、ダウンロード・サイズおよびインストールに必要なディスク スペース所要量を更新して表示します。
 - d. フィーチャーの選択が終了したら、「次へ」をクリックして続けます。
11. 製品パッケージをインストールする前に「要約」ページで選択項目を検討します。前のページで行った選択を変更したい場合は、「戻る」をクリックして変更を行います。選択がそのままであれば、「インストール」をクリックしてパッケージをインストールします。進行状況表示にインストールの完了パーセントが表示されます。
12. オプション: インストール プロセスが完了すると、プロセスの完了を確認するメッセージが、ページの上部に表示されます。「**ログ・ファイルの表示**」をクリックして、新規ウィンドウで現行セッションのログ・ファイルを開きます。続行するには、「インストール・ログ」ウィンドウを閉じます。
13. 「完了」をクリックしてウィザードを閉じます。

サイレント インストールの実行

1 つ以上のマシンでの製品のサイレント インストールについては、IBM Installation Manager インフォメーション センターでサイレント インストールの資料を参照してください。

Installation Manager インフォメーション センターは <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/install/v1r2/index.jsp> にあります。

第 4 章 製品の開始

デスクトップ環境またはコマンド行インターフェースから、製品の各コンポーネント (Purify、Quantify[®]、または PureCoverage[®]) を開始できます。

このタスクについて

PurifyPlus をインストール済みであると仮定した場合に、Purify を開始するには、「スタート」→「プログラム」→「Rational」→「PurifyPlus」→「Purify」をクリックします。

コマンド行から Purify を開始するには、`C:¥installation_directory¥purify` コマンドを入力します。

Quantify と PureCoverage の両方を同じ方法で開始できます。

Windows Vista の場合の重要な注:

- 製品のインストール ロケーションまたは共有リソース ディレクトリがパス `C:¥Program Files` 内のディレクトリ内にある場合は、製品は管理者としてのみ実行できます。管理者として実行するには、プログラムのショートカットを右クリックして、「管理者として実行」をクリックします。
- Windows Vista の場合、Program Files ディレクトリは、管理者として実行していないユーザーがこの保護下のディレクトリへの書き込み権限を持つことができるように、普通は仮想化されます。しかし、仮想化の解決策は、Purify または PurifyPlus とは互換性がありません。
- パス `C:¥Program Files` 内にあるインストール ロケーションまたは共有リソース ディレクトリを選択した場合に、製品を管理者として実行する必要がないようにするには、以下のいずれかのステップを実行します。
 - 製品と、同じインストール ロケーションを共有するその他のプログラムを再インストールして、パス `C:¥Program Files` 内にはないインストール ロケーションを選択します。
 - 製品と、(インストール ロケーションに関係なく) すべての Rational Software Delivery Platform 製品パッケージを再インストールして、パス `C:¥Program Files` 内にはない共有リソース ディレクトリとインストール ロケーションを選択します。

第 5 章 ライセンスの管理

IBM Rational Purify および IBM Rational PurifyPlus のライセンス機能は IBM Rational License Key Administrator を使用して管理されます。

License Key Administrator を使用して、製品ライセンス キーをインポートすることで、製品にライセンスを適用するか、本製品の試用バージョンを、ライセンス交付を受けたバージョンにアップグレードできます。トライアル・ライセンスまたはパーマネント・ライセンスを持つ本製品に対し、フローティング・ライセンスの適用を有効にして、ライセンス・サーバーのフローティング・ライセンス・キーを使用することもできます。

ご使用の製品のライセンス管理について詳しくは、以下を参照してください。

- License Key Administrator の資料。
- Rational のライセンス交付に関するサポート・ページ: <http://www.ibm.com/software/rational/support/licensing/>

ライセンス タイプ

Purify または PurifyPlus の購入者として、許可ユーザー ライセンスおよびフローティング ライセンスの 2 つのタイプの製品ライセンスの中から選択することができます。どのタイプのライセンスが組織に最適であるかは、製品を使用する人数、アクセス頻度、ソフトウェア購入の方針などによって異なります。

許可ユーザー ライセンス

IBM Rational 許可ユーザー ライセンスは、1 人の個人に対して Rational ソフトウェア製品の使用を許可します。購入者は、製品にアクセスする個々のユーザーごとに、任意の方法で許可ユーザー・ライセンスを入手する必要があります。許可ユーザー・ライセンスの再割り当ては、割り当てた元のユーザーを購入者が長期間または永久に置き換える場合を除いて、許可されません。

例えば、許可ユーザー ライセンスを 1 つ購入した場合、そのライセンスをある個人に割り当てることができます。割り当てられた個人は、Rational ソフトウェア製品を独占的に使用することができます。許可ユーザー ライセンスでは、いかなる場合も (ライセンス交付を受けた個人が製品を使用中でない場合でも) その製品を使用することを他者に許可することはありません。

フローティング・ライセンス

IBM Rational フローティング・ライセンスは、複数のチーム・メンバーで共用することができる、単一のソフトウェア製品に対するライセンスです。ただし、同時ユーザーの総数は、購入したフローティング・ライセンスの数を超えてはいけません。例えば、Rational ソフトウェア製品のフローティング・ライセンスを 1 つ購入した場合、組織内の任意のユーザーが任意の時期に製品を使用することができます。製品にアクセスしたい他のユーザーは、現行ユーザーがログオフするまで待たなければなりません。

フローティング・ライセンスを使用するには、フローティング・ライセンス・キーを入手して、Rational License Server にインストールする必要があります。サーバーは、ライセンス キーへのアクセスを要求するユーザー要求に応じます。サーバーは、その組織が購入したライセンス数と等しい数の同時ユーザーにアクセスを認可します。

注: フローティング ライセンスは、IBM Rational PurifyPlus Enterprise Edition のみで使用可能です。

ライセンス情報の表示

IBM Rational License Key Administrator から IBM Rational Purify および IBM Rational PurifyPlus のライセンス情報を確認できます。ライセンス情報には、ライセンスの種類および有効期限が含まれます。

このタスクについて

ライセンス情報を表示するには、以下のようになります。

「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「IBM Rational」 → 「IBM Rational License Key Administrator」をクリックします。

タスクの結果

製品ごとに、製品名、ライセンスの種類、有効期限、およびライセンス数が表示されます。

ライセンスの使用可能化

ソフトウェアを初めてインストールする場合、または製品の使用を継続するためにライセンスを延長する場合に、製品のライセンスを使用可能にする方法を選択します。

この製品のライセンスを使用可能にするには、以下の 2 つの方法があります。

- 製品ライセンス キーをインポートする方法
- Rational Common Licensing を使用可能にし、フローティング・ライセンス・キーにアクセスする方法

ライセンス キー

IBM Rational License Key Administrator を使用して、製品のライセンス キーをインポートします。

フローティング・ライセンスの適用

オプションで、フローティング・ライセンス・キーを入手して、IBM Rational License Server をインストールすることで、ご使用の製品にフローティング・ライセンスを適用できます。フローティング・ライセンスを適用すると、次のような利点があります。

- 組織全体におけるライセンス準拠の徹底

- ライセンス購入数の削減
- 同じライセンス サーバーからの、IBM Rational Team Unifying および Software Delivery Platform デスクトップ製品用のライセンス キーの供給

ライセンスの購入

現行の製品ライセンスの有効期限が切れる場合、またはチーム・メンバー用に追加の製品ライセンスが必要な場合は、新規ライセンスをご購入いただけます。

このタスクについて

ライセンスを購入して製品を使用可能にするには、以下のステップを完了してください。

1. 購入するライセンスのタイプを決定します。
2. ibm.com[®] にアクセスするか、IBM 営業担当員に連絡を取り、製品ライセンスを購入します。詳しくは、IBM Web ページのソフトウェアのご注文方法をご覧ください。
3. 購入したライセンス タイプに応じて、受け取ったライセンス証書を使用し、以下のいずれかを実行して製品を使用可能にします。
 - 製品の許可ユーザー ライセンスを購入した場合は、Passport Advantage[®]にアクセスし、記載されている説明に従って、ライセンス キーをダウンロードします。
 - 製品のフローティング・ライセンスを購入した場合は、IBM Rational ライセンスおよびダウンロード (IBM Rational Licensing and Download) サイトへのリンクをクリックして、ログインし (IBM への登録が必要です)、次に IBM Rational ライセンス・キー・センター (IBM Rational License Key Center) に接続するためのリンクを選択します。そこで、ライセンス証書を使用して、ご使用のライセンス・サーバーのフローティング・ライセンス・キーを取得できます。

オプションで、パスポート アドバンテージにアクセスして、製品のライセンス キーをダウンロードすることもできます。

次のタスク

製品のライセンス キーをインポートする場合は、14 ページの『ライセンスの使用可能化』を参照してください。

第 6 章 製品の更新

IBM Installation Manager を使用して、製品の更新を検索してインストールできます。

始める前に

デフォルトでは、リポジトリ設定がローカル更新サイトを指していない限り、インターネットへのアクセスが必要になります。

各インストール済みパッケージには、それぞれのデフォルトの IBM 更新リポジトリのロケーションが組み込まれています。Installation Manager が IBM 更新リポジトリ ロケーションでインストール済みパッケージを検索できるようにするには、「リポジトリ」設定ページで「インストールと更新を行っている間にサービス・リポジトリをサーチします」を選択します。この設定はデフォルトで選択されています。

詳しくは、Installation Manager のヘルプを参照してください。

重要:

- Installation Manager を使用してインストールしたプログラムをすべて閉じてから、更新を開始してください。
- 更新プロセス中に、Installation Manager がパッケージの基本バージョンのリポジトリ ロケーションの入力を求めるプロンプトを表示することがあります。製品を CD またはその他のメディアからインストールした場合は、更新機能を使用するときにそれらのメディアを使用できるようにしておく必要があります。

このタスクについて

製品パッケージの更新を検索してインストールするには、次のようにします。

1. Installation Manager の「開始」ページで、「更新」をクリックします。
2. Installation Manager がコンピュータ上で検出されない場合は、最新のリリースのインストールに進んでください。ウィザードの説明に従って、インストールを完了します。
3. 「更新」ウィザードで、更新する製品がインストールされているパッケージグループのロケーションを選択するか、「すべて更新」を選択して、「次へ」をクリックします。Installation Manager は、そのリポジトリ内と、製品の定義済み更新サイトで更新を検索します。進行状況表示に検索状況が表示されます。
4. 検出されたパッケージの更新は、対応するパッケージの後で、「パッケージの更新」ページの「更新」リストに表示されます。デフォルトでは、推奨される更新のみが表示されます。「すべてを表示」をクリックすると、使用可能なパッケージに対して検出されたすべての更新が表示されます。
 - a. 更新の詳細を知りたい場合は、「更新」をクリックし、「詳細」の下の説明を参照してください。

- b. 更新に関する追加情報が入手可能な場合は、説明本文の最後に「**詳細情報**」リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、ブラウザに情報が表示されます。更新をインストールする前に、この情報を確認しておくようにしてください。
5. インストールする更新を選択するか、「**推奨を選択**」をクリックしてデフォルトの選択を復元します。依存関係のある更新は、自動でまとめて選択およびクリアされます。
6. 「**次へ**」をクリックします。
7. 「**ライセンス**」ページで、選択した更新のご使用条件を読みます。「**ライセンス**」ページの左側に、選択した更新のライセンスのリストが表示されます。
8. 各項目をクリックすると、対応するご使用条件の本文が表示されます。
 - a. ご使用条件のすべての条項に同意する場合は、「**使用条件の条項に同意します**」をクリックします。
 - b. 「**次へ**」をクリックして続けます。
9. 更新をインストールする前に「**要約**」ページで選択内容を確認します。
 - a. 前のページで行った選択を変更したい場合は、「**戻る**」をクリックして変更を行います。
 - b. そのままで問題なければ、「**更新**」をクリックし、更新をダウンロードしてインストールします。進行状況表示にインストールの完了パーセントが表示されます。
10. オプション: 更新プロセスが完了すると、プロセスの完了を確認するメッセージが、ページの上部に表示されます。「**ログ・ファイルの表示**」をクリックして、新規ウィンドウで現行セッションのログ・ファイルを開きます。続行するには、「**インストール・ログ**」ウィンドウを閉じます。
11. 「**完了**」をクリックしてウィザードを閉じます。
12. オプション: 「**更新**」ウィザードを使用して更新されるのは、すでにインストールされているフィーチャーに限られます。インストールする新規フィーチャーが更新に含まれている場合は、「**変更**」ウィザードを実行して、フィーチャー選択パネルからインストールする新規フィーチャーを選択してください。

前のバージョンへの更新の復帰

IBM Installation Manager の「パッケージのロールバック」ウィザードを使用することで、以前のバージョンの製品に戻すことができます。

始める前に

ロールバック プロセスの際、Installation Manager は前のバージョンの製品パッケージのファイルにアクセスする必要があります。デフォルトでは、これらのファイルは新しいパッケージにアップグレードしたときにコンピューターに保管されます。アップグレード中に、ロールバック用にローカルに保管されているファイルを削除している場合か、「**設定**」ページの「**ロールバック用ファイルを保管**」チェック・ボックス（「**ファイル**」>「**設定**」>「**ロールバック用ファイル**」）のチェック・マークを外している場合は、前のバージョンのパッケージのインストールに使用したメディアかリポジトリがないと、そのバージョンにロールバックできません。

このタスクについて

更新を製品パッケージに適用した後で、その更新を除去して前のバージョンの製品に戻す場合は、ロールバック・フィーチャーを使用します。ロールバック フィーチャーを使用する場合、Installation Manager は更新されたリソースをアンインストールして、前のバージョンのリソースを再インストールします。一度に 1 つのバージョン・レベルにしかロールバックできません。

詳しくは、Installation Manager のオンライン ヘルプまたは Installation Manager インフォメーション センターを参照してください。

更新を前のバージョンに戻す場合は、次の手順に従ってください。

1. Installation Manager の「開始」ページで「**パッケージのロールバック**」をクリックします。
2. 「ロールバック」ウィザードで、「**インストール・パッケージ**」リストから、前のバージョンに戻すパッケージを選択します。
3. ウィザードの指示に従います。
4. オプション: ロールバック プロセスが完了すると、プロセスの完了を確認するメッセージが、ページの上部に表示されます。「**ログ・ファイルの表示**」をクリックして、新規ウィンドウで現行セッションのログ・ファイルを開きます。続行するには、「インストール・ログ」ウィンドウを閉じます。
5. 「完了」をクリックします。

第 7 章 ソフトウェアのアンインストール

このセクションでは、ご使用の製品と IBM Installation Manager のアンインストール方法について説明します。

製品のアンインストール

IBM Installation Manager を使用して、製品をアンインストールします。他の製品がインストールされていない場合は、Installation Manager もアンインストールできます。

このタスクについて

製品をアンインストールするには、以下のようにします。

1. Installation Manager を開始します。
2. 「アンインストール (Uninstall)」ウィザードを選択します。
3. アンインストールするパッケージ グループとパッケージを選択して、ウィザードの指示に従ってアンインストール プロセスを完了します。

IBM Installation Manager のアンインストール

ワークステーションから Installation Manager を除去するには、以下のステップに従ってください。

始める前に

Installation Manager をアンインストールする前に、Installation Manager とともにインストールされたすべてのパッケージと製品をアンインストールする必要があります。プログラムのアンインストールを試行する前に、Installation Manager を閉じます。

Installation Manager のインストールに使用した権限と同じ権限を持つユーザー アカウントでワークステーションにログオンする必要があります。

Installation Manager をアンインストールするには、以下のようにします。

1. 「スタート」メニューから、「コントロール パネル」 → 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
2. 「プログラムの変更と削除」ページで「IBM Installation Manager」を選択して、「削除」をクリックします。
3. 「プログラムの追加と削除」ウィンドウで「はい」をクリックして、除去を続行します。

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒242-8502
神奈川県大和市下鶴間1623番14号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*Intellectual Property Dept. for Rational Software
IBM Corporation
20 Maguire Road
Lexington, Massachusetts 02421-3112
U.S.A.*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

商標

以下は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

- developerWorks®
- IBM
- Passport Advantage
- Rational
- WebSphere®
- iSeries®
- zSeries®

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アプリケーション

開始 11

インストール

アップグレード 4

サイレント インストール 10

製品のインストール 8

変更 2

要件

ディスク スペース 3

メモリ 3

用語 1

ランチパッド 5

ロケーション 4

[カ行]

規則 1

共有リソース ディレクトリ

インストール ロケーション 4

更新

ソフトウェア 17

[サ行]

製品の使用可能化

概要 14

ソフトウェア

更新 17

ソフトウェア ロールバック

前のバージョンに戻す 18

ソフトウェア更新

前のバージョンに戻す 18

ソフトウェアのアンインストール

Installation Manager 21

[ハ行]

パッケージ・グループ

インストール ロケーション 4

フローティング・ライセンス

購入 15

[ラ行]

ライセンス

管理 13

許可ユーザー・ライセンス 13

購入 15

製品の使用可能化 14

パッケージの情報の表示 14

フローティング・ライセンス 13

ライセンス タイプ

表示 14

ライセンスの管理

概要 13

ランチパッド

セットアップ ディスクからの開始 5

ダウンロード イメージからの開始 6

ロールバック

前のソフトウェア バージョンに戻す

18

Installation Manager

インストール 6

開始 7

ソフトウェアのアンインストール 21

PurifyPlus の開始 11

Rational Common Licensing 14



Printed in Japan

GC88-8191-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21